

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 5 月 28 日 (2015.5.28)

【公開番号】特開 2013-225780 (P2013-225780A)

【公開日】平成 25 年 10 月 31 日 (2013.10.31)

【年通号数】公開・登録公報 2013-060

【出願番号】特願 2012-97302 (P2012-97302)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/17 (2006.01)

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 R 1/00 (2006.01)

H 0 4 R 1/02 (2006.01)

H 0 4 R 1/10 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/17 B

H 0 4 M 1/02 C

H 0 4 M 1/00 B

H 0 4 R 1/00 3 1 7

H 0 4 R 1/02 1 0 2 Z

H 0 4 R 1/10 1 0 1 A

H 0 4 R 1/10 1 0 4 E

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 10 日 (2015.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

携帯電話から出力される外部音声信号の入力部と、前記入力部から入力された外部音声信号に基づいて振動する軟骨伝導部と、前記軟骨伝導部を携帯電話に支持する支持部とを有することを特徴とする携帯電話補助装置。

【請求項 2】

前記支持部は携帯電話に被せられるソフトカバーであり、前記軟骨伝導部は前記ソフトカバーの上部角部に配置されることを特徴とする請求項 1 記載の携帯電話補助装置。

【請求項 3】

前記ソフトカバーは上部が肉厚部分として構成され、前記肉厚部分における一方の角部に軟骨伝導振動源が配置されることにより、前記ソフトカバーが携帯電話に被せられたとき前記軟骨伝導振動源が配置された前記肉厚部分の一方の角部が前記軟骨伝導部として携帯電話に支持されることを特徴とする請求項 2 記載の携帯電話補助装置。

【請求項 4】

前記ソフトカバーの肉厚部分の他方の角部内に携帯電話の外部出力ジャックに挿入される外部イヤホンプラグが前記入力部として配置されることを特徴とする請求項 3 記載の携帯電話補助装置。

【請求項 5】

前記外部イヤホンプラグは、前記ソフトカバーが携帯電話に被せられる前に携帯電話の

外部出力ジャックに挿入可能に前記肉厚部分の他方の角部内に配置されることを特徴とする請求項 4 記載の携帯電話補助装置。

【請求項 6】

前記入力部から入力された音声信号に基づいて前記軟骨伝導振動源を駆動する駆動部を有することを特徴とする請求項 3 から 5 のいずれかに記載の携帯電話補助装置。

【請求項 7】

前記駆動部に給電する電源部を有することを特徴とする請求項 6 記載の携帯電話補助装置。

【請求項 8】

前記軟骨伝導振動源は電磁型振動子であることを特徴とする請求項 3 から 7 のいずれかに記載の携帯電話補助装置。